

# りそな マーケットフラッシュ デイリー

◎注意事項をよくお読みください  
2026/03/10  
りそなホールディングス 市場企画部

## ◆前営業日の相場動向◆

トランプ大統領がイラン戦争の短期終結示唆で米株反発、ドル安

	3/9	前日比		3/9	前日比		3/9	前日比
日本国債(10年)	2.185%	0.025%	日経平均(円)	52,728.72	-2,892.12	ドル円	157.67	-0.11
独国債(10年)	2.859%	-0.001%	独DAX(pt)	23,409.37	-181.66	NY原油	94.77	3.87
米国債(10年)	4.096%	-0.043%	NYダウ(ドル)	47,740.80	239.25	NY金	5,103.70	-55.00

### 【ポイント】

- **日本株は下落**：NY原油が120ドルに迫る動きを見せるなか、日本株は急落。一時日経平均株価は今年1月以来の5万1,000円台に下落した。その後「G7が協調して石油備蓄を放出する」との報道を受けて原油の上昇が一服すると下げ幅は縮小。
- **米国株は上昇**：日本時間に原油が急騰するなどイラン情勢を巡る緊張感が高まり、売りが先行。しかし、トランプ大統領が「戦争の終結は近い」とコメントしたことを手掛かりに反発。主要3指数は揃って上昇。ナスダック株の上昇が目立った。
- **米国債金利は低下**：原油価格の上昇一服で、前日までのインフレ警戒が薄らぎ、金利はじりじりと低下。長期ゾーンの金利低下が目立った。
- **ドル円は下落**：原油高を受け、東京時間に一時158.90円まで上昇。しかし、原油下落を受けて有事のドル買いの動きが一服となり上げ幅を縮小。

### 【主な材料】

- G7、緊急石油備蓄の共同放出を協議へ
- 2月NY連銀消費者期待調査、1年インフレ期待が3.00%（予想3.11%、1月3.09%）。3年3.00%、5年2.98%。
- トランプ米大統領、戦争はほぼ完了していると思う。

## ◆本日の見通し◆

イラン戦争の早期終結期待継続で、日本株上昇、ドル円下落を予想

日本株 ↗ 54,000-55,500

米金利 ↗ 4.05-4.18

ドル円 ↘ 157.00-158.30

- **日本株**は上昇を予想。トランプ米大統領のイラン戦争への楽観的な見通しを好感し、戻りを試す展開を予想。
- **米金利**は上昇を予想。原油高は一服しているものの、米景気は底堅く、利下げには時間がかかる。依然金利は上昇しやすい地合いであろう。
- **ドル円**は下落を予想。原油高一服を受け、過度な日本の貿易赤字への懸念は後退。上値の重さが目立つ展開を予想。

## ◆本日の注目ポイント◆

インフレ予想に新たな火種

- 今週は13日に公表されるミシガン大学消費者信頼感調査の速報に注目したい。米-イラン動向が中東諸国を巻き込んだ武力衝突にエスカレートしてからは、原油や天然ガスといった主要なエネルギー資源の価格が高騰している。同調査では家計の予想インフレ率が公表されており、エネルギー資源価格の高騰は、ガソリン価格や光熱費を通して、今後1年間といった短期的なインフレ予想に上昇圧力がかけやすいことが知られている。
- 問題が複雑となるのは、中東情勢の緊迫が長期化することで、そうした短期的な予想インフレ率の上昇が、中長期の予想インフレ率に波及していく場合となる。中央銀行としては短期的なインフレ予想の上昇には政策対応をしないことがセオリーだが、それによって中長期の予想インフレ率が上昇した場合には、引締め政策が景気に対して及ぼす影響をケアしながらも、政策金利の引上げていく必要が生じてくる。労働市場が曲がり角にあるFRBにとっては難しい状況だ。（担当：佐藤）



## ◆当面の注目イベント◆

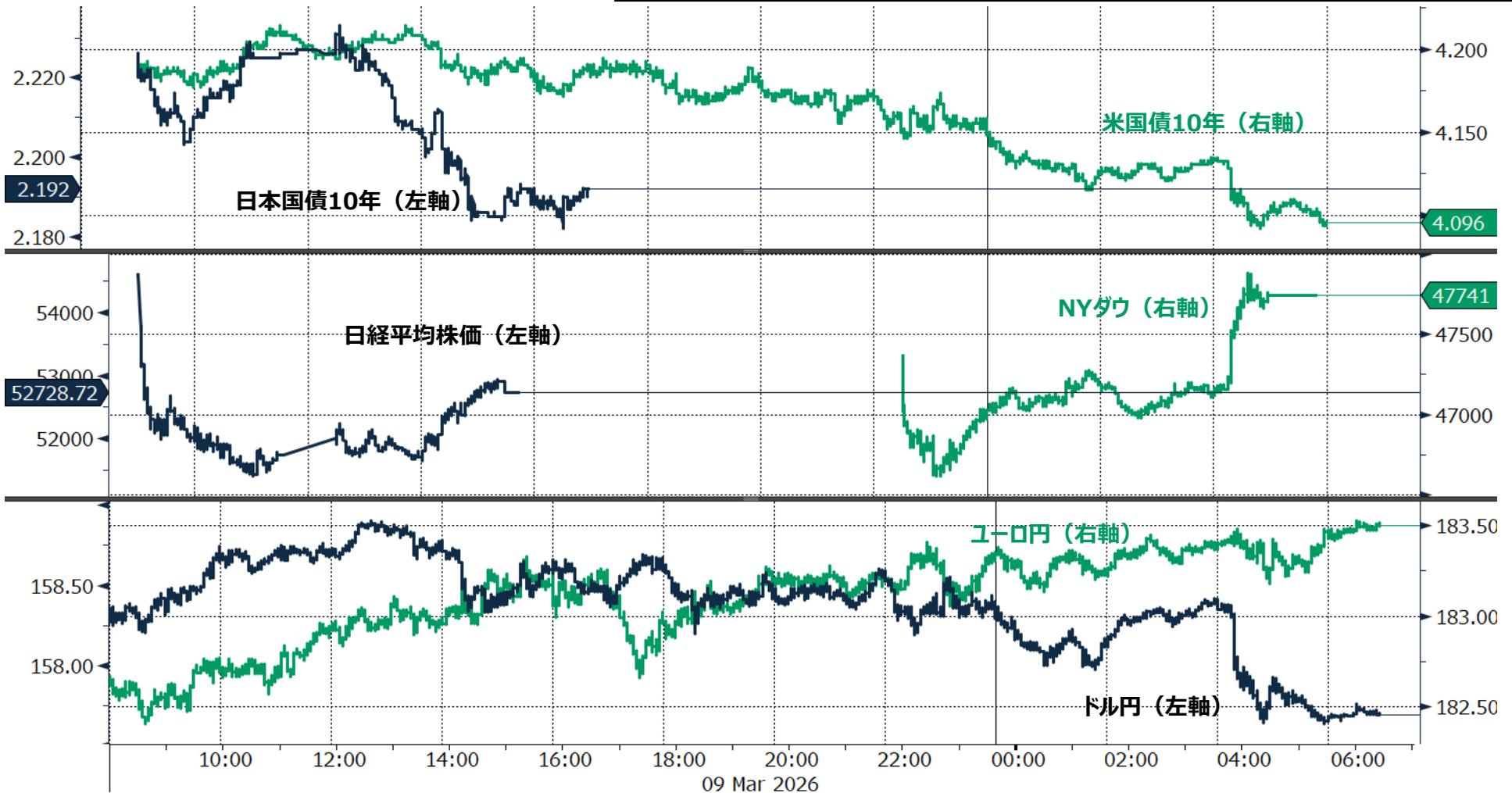
	イベント	注目点
3/19	日米首脳会談	高市首相が就任後初めて米国を訪問する。相互関税の違憲判決で課された新たな関税の枠組みの基で、日米貿易合意の遵守を約束できるかが焦点。また、トランプ大統領が円安に難色を示さないのかも市場への影響が強そう
3/19	2026年春闘	3月中旬に2026年春闘の回答集計が集中するいわゆるヤマ場を迎える。2025年度はトランプ関税などにより景気の不透明感が高かったものの、企業利益は堅調な推移となっており、ベアを含めた賃上げも腰折れが避けられそう



# りそな マーケットフラッシュ デイリー

## ◆前営業日のマーケット動向◆

- 東証33業種中 33業種が下落（値下がり率上位）非鉄金属>ガラス・土石製品>機械(前日)
- S&P11業種中 9業種が上昇（値上がり率上位）情報技術>コミュニケーション・サービス>ヘルスケア(前日)
- 主要通貨強い順 AUD>CNY>EUR>GBP>JPY>USD>CAD>CHF(前日)



◎注意事項◎ お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されてい  
ると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的として  
おり、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願いいたします。

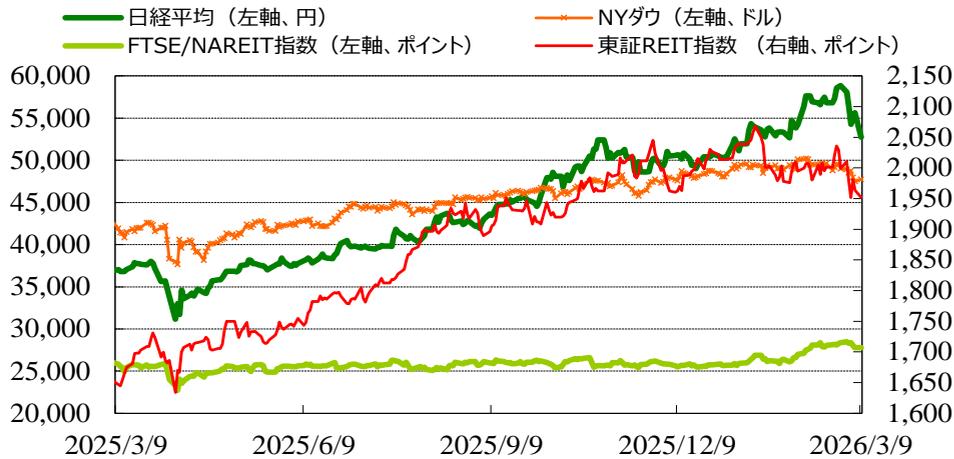


# りそな マーケットフラッシュ デイリー

(出所：Bloomberg)

## ◆マーケット・チャート◆

図表1：株式市場（日経平均、NYダウ、東証REIT指数、FTSE/NAREIT指数）



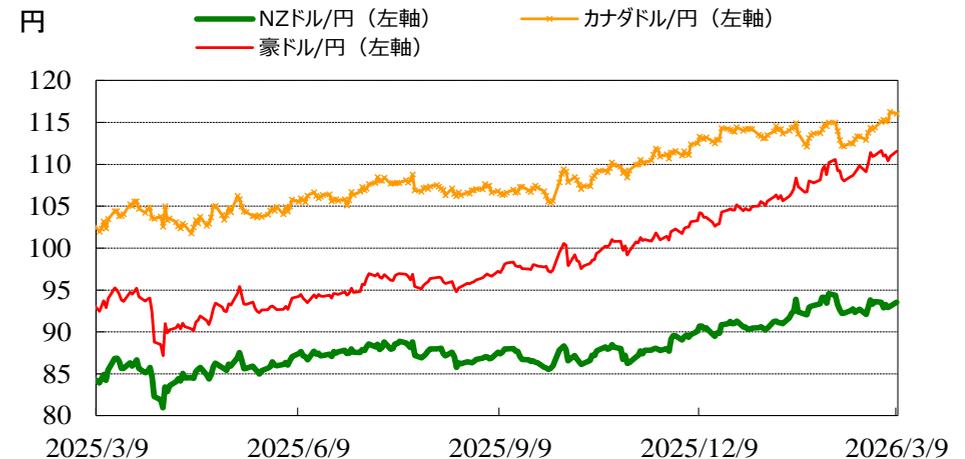
図表2：債券市場（日米2年金利、10年金利）



図表3：為替市場（ドル/円、ユーロ/円、スイスフラン/円）



図表4：為替市場（豪ドル/円、NZドル/円、カナダドル/円）



©注意事項◎ お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されてい  
ると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的として  
おり、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願いいたします。

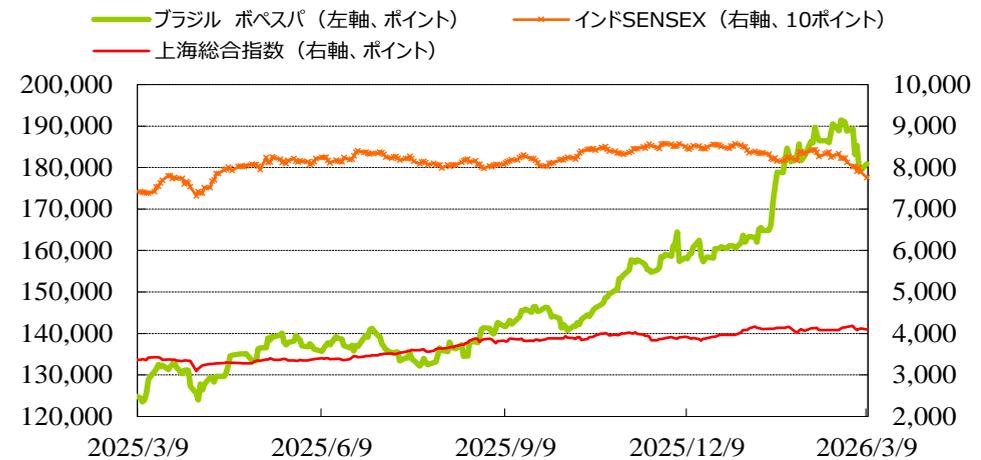
(出所：Bloomberg)

◆マーケット・チャート◆

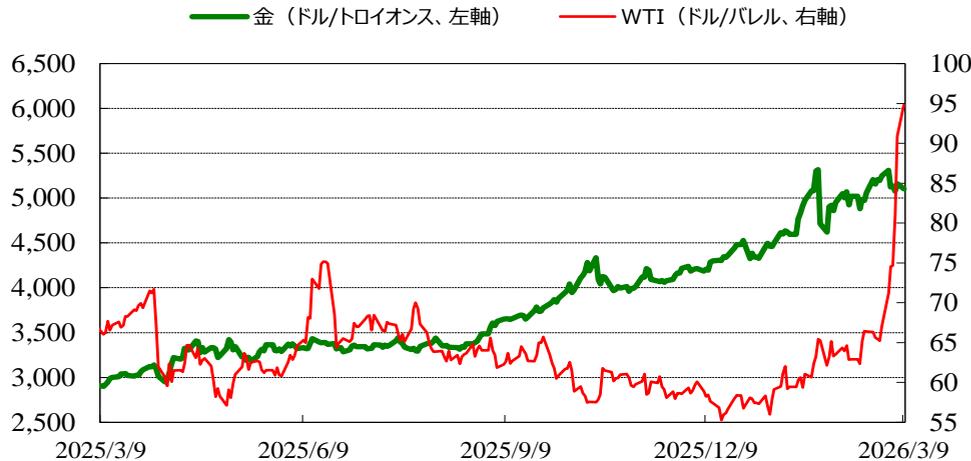
図表5：為替市場（ブラジルレアル/円、メキシコペソ/円、トルコリラ/円）



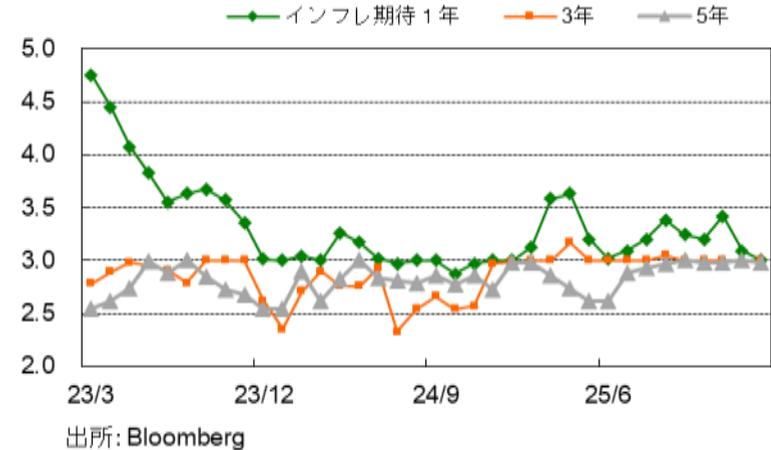
図表6：株式市場（ブラジル株、インド株、中国株）



図表7：商品市場（金・原油）



図表8：NY連銀期待インフレ率



実績 2月1年期待インフレ率3.00% (予想3.13%、1月3.09%)、3年3.00%、5年2.98%

©注意事項◎ お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されてい  
ると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的として  
おり、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

